



# 新しい朝

府中市立府中第十中学校

学校だより No. 1 0

令和3年 1月12日

## 「三学期始業式講話」

校長 芹澤 敏光

おはようございます。そしてあけましておめでとうございます。

令和3年の幕開け、また3学期のスタートとなりました。11日間の冬季休業でしたが、みなさんはどのような新年を迎えたでしょうか。何か決意を新たにされたものがあったでしょうか。

新年最初の話が明るい話題でなく、やはりコロナ話しになってしまい、少々気の重い、心苦しい感じがしますが、現在の社会情勢を鑑みると仕方ありません。自分自身の命や健康・安全、周囲の人の命や健康・安全を守るためには非常に重要なことです。

年が明けて早々に、盛んにマスコミ等で報道がされていますので、みなさんもすでに承知のことだと思いますが、東京都を中心とする、埼玉県、神奈川県、千葉県の一都三県について、新型コロナウイルスに関する対応で大きな動きがありました。一昨日の菅総理大臣の記者会見にもある通り、緊急事態宣言の発出が予定されています。報道によれば明日の7日には出される見通しです。1学期に出された緊急事態宣言の時のように、学校が一斉に臨時休校になることは、今回はない予定ですが、これまでのこうした動きを受けて、府中市では、当面次のような対応をとることにしていますので、よく確認をしてください。

○1月31日まで、生徒が学年を超えて一堂に集まって行う行事、宿泊を伴う行事や校外での活動の中止。

○同じく本日より1月31日まで、すべての部活動の中止。

今のところはっきりしているのは以上の点です。

現在、市の方でも対応を検討中ですので、これ以外に何か学校の対応としてはっきりしたことが分かれば、随時みなさんにも伝えるようにしていきます。

いずれにしても、これまで繰り返し呼び掛けてきた内容、それを受けて行動してきたことを、決して気を緩めることなく改めて徹底してください。そして世の中の状況によく関心を向けてください。

続けてもう1点話をしたいと思います。この冬休みは様々なスポーツの大会が目白押しでした。なかにはコロナの感染症対策を講じながら例年通りのスケジュールで開催されたものや、コロナの影響でこの時期に開催時期がずれ込んだものなどいろいろのようです。そこで感じたことは、やはりスポーツは人々に勇気や感動を与えるものだなということです。特に今年度に関しては、コロナの影響で、今までのような練習がままならない状況で、そして先行きが見通せない中で、もしかしたら努力の成果を発揮する場がなくなってしまうかもしれないという不安の中で、選手一人一人が地道に努力を積み重ねていたのかと思うと、非常に胸を打つものがあります。また、肉体的、技術的なコンディションだけでなく、自分の気持ちを奮い立たせながら、心が折れないように精神的な安定も保ち続けていたのかと思うとなおさらです。このようなことから、やはり物事、来たるべき時に備えて入念に準備をしておくことの重要性を改めて感じました。

準備ということでは、3年生はこれからすぐに入試シーズン本番を迎えます。もしかしたら例年とは違う対応を急遽要求される場面があるかもしれません。そうした時にも動じないように、残りの準備期間も限られていますが、強い気持ちで臨めるように自分自身を見つめなおしてください。1・2年生についても、この3学期をいかに過ごすかが4月以降に学年がそれぞれ一つ進級した時に大きくつながっていきます。3学期が終了すれば、中学校生活の3分の1ないしは3分の2が過ぎたこととなります。学校生活、家庭生活、地域の中で、コロナ対応などあらゆることに自覚を新たに、前に進んでいきましょう。

それでは、以上で3学期始業式の話を終わります。

緊急事態宣言の発出に伴い、緊急事態宣言の解除がされる日まで、感染防止対策を徹底しながら学校運営を継続していきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

\*府中市教育委員会からのお知らせ「市立学校（園）における新型コロナウイルス感染症対策の一層の徹底について」をご覧ください。

## ■□ 北多摩地区中学校美術展覧会 ■□

令和3年1月10日（日）～17日（日）の7日間、府中市美術館一階市民ギャラリーにおいて北多摩地区中学校美術展覧会が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のリスクを考え中止となりました。十中から出品する予定だった、1年生「絵文字」、2年生「平面充填鯉のぼり」、3年生「室内透視図」を紹介します。

【1年生】 秦 結菜さん、吉澤 日菜さん、内田 美樹さん  
渡邊 あまねさん、高橋 怜美さん、渡邊 夏莉さん



【2年生】 米川 くるみさん、廣瀬 心哉さん  
大澤 千里さん、蛭田 咲耶さん



【3年生】 矢中 祐護さん、打田 優奈さん  
川島 伶さん、小野寺 愛祈さん、伊藤 彩海さん  
正井 夢海さん

## ■□ 第29回“明日のTOKYO” 作文コンクール表彰 ■□

〈受賞者名〉 3-2 塚田 怜佳 さん  
〈受賞名〉 入選  
〈題名〉 『緑あふれる東京へ』

受賞作品は東京都人材支援事業団のホームページに掲載されます。

<https://www/tokyo-jinzai.or.jp/index.htm>



収穫指導を行う松本さん(右)と収穫する生徒ら(東京都府中市で)

中学生育てた野菜  
保護者に販売  
東京都府中市  
〇京の農作物が約1時間  
の生徒が育てた。  
生徒らは前日の放課後に松本良孝さんの農場(ほしよ)で育てたアイコ(ミニトマト)を収穫した。  
この取り組みは今年で3年目を迎え、今年も収益を利用して隣の老人ホームへの物品の寄付や、文化センターの電機式自動アルコール消毒機の寄贈を行う予定だ。

十中朝市の記事が「1月8日付農業新聞」に掲載されました。

## ■□ 学校生活の様子 ■□

〇環境美化委員会の呼びかけで、12月17日（木）、18日（金）、21日（月）、22日（火）の4日間、「美化意識向上キャンペーン」を行いました。みんなで協力をし、よりきれいな教室を意識して清掃していました。



環境美化委員による点検の様子



保健委員会手洗いチェック

〇保健委員会では手洗い方法を見直す取り組みをしています。冬になると水の冷たさでおろそかになりがちな手洗いに対する意識を高める活動です。専用の手洗いチェック用クリームをつけて実際に手洗いをします。ブラックライトに手をかざすと洗い残しがある部分が青く光ります。正しい手洗いを毎日の習慣にしていってほしいです。